

《第65回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書》

	書名	作者名	あらすじ
小学校低学年	魔女ののろいアメ	草野 あきこ // 作 ひがし ちから // 絵	魔女が売っていたのは、悪口を10個言いながらつくる「のろいアメ」。サキが大嫌いなおねえちゃんを思いうかべ、悪口を言いながら、ぼうでビンの中身をくるくるまぜると…。
	スタンリーとちいさな火星人	サイモン・ジェームズ // 作 いもと ようこ // 絵	かあさんが泊りがけで仕事に出かけた日、スタンリーは火星へと飛びたつた。すると入れ替わりに、小さな火星人がやってきた。その火星人は、手を洗わず、野菜を食べず、学校に行くといけんかばかりして…。
	心ってどこにあるのでしょうか？	こんの ひとみ // 作 いもと ようこ // 絵	心ってどこにあるのでしょうか？好きな人に会うとほっぺが真っ赤になった。心はほっぺにあるのでしょうか…。こんのひとみ&いもとようこコンビがあたたかい文と絵でおくる絵本。
	もぐらはすごい	アヤ井 アキコ // 著 川田 伸一郎 // 監修	まっくらな土の中に住んでいるもぐら。どうやって土を掘るんだろう？いつ寝て、いつ起きるんだろう？もぐらが掘ったトンネルの中はどうなっているんだろう？謎だらけの暮らしを紹介します。
小学校中学年	かみさまにあいたい	当原 珠樹 // 作 酒井 以 // 絵	大好きなおばあちゃんに、うそをついたまま永遠の別れを迎えてしまった雄一。ひよんなことから、同級生の竜也といっしょに「神さま」との交信を試みるが…。心の傷を抱えた少年たちのひみつの友情と成長の物語。
	子ぶたのトリュフ	ヘレン・ピーターズ // 文 エリー・スノードン // 絵	ジャスミンに命を救われた赤ちゃんぶたのトリュフは、元気な子ぶたに育ちました。そして、クリスマスイブに、ある事件が起こり、今度はジャスミンを助けるために大活躍！少女と子ぶたの心あたたまる物語。
	そうだったのか！しゅんかん図鑑	伊知地 国夫 // 写真	消える、落ちる、こぼれる…。みぢかなものが動くときの、肉眼では見えない「しゅんかんの姿」を切り撮った写真を、科学への興味がわく解説とともに掲載。開くと2倍にのびるページ、見返しに写真あり。
	ハチごはん	横塚 真己人 // 写真と文	岐阜県などのある地域では、ハチの子を食べる習慣があります。昔から世界中で虫は食べられてきて、日本でも季節のごちそうとして虫を食べているのです。どんなふう食べているのかを、写真とともに伝えます。

小学校 高学年	ぼくとニケ	片川 優子 // 著	5年生で突然登校拒否になった幼なじみの仁菜が、薄汚れた子猫を拾い、ぼくの家へ連れてきた。自分の家で飼えない仁菜にかわり、ぼくと家族がお世話することになり…。獣医師が描く、子猫のニケとぼくの大切な話。
	かべのむこうになにがある？	ブリッタ・テッケントラップ // 作	大きな赤い壁がありました。どこからどこまで続いているのか、誰がいつどうやって作ったのか、気にする人はいません。知りたがりの小さなねずみは、この壁の向こうに何があるのか気になって、みんなに聞いてまわりますが…。
	マンザナの風にのせて	ロイス・セババーン // 作 ひだか のり子 // 絵	1942年、アメリカ、ワシントン州で家族と幸せに暮らしていた日系アメリカ人のマナミの生活は、ある日一変する。家族で「強制立ち退き」しなければならなくなり…。アメリカ日系移民の強制収容を描いた物語。
	もうひとつの屋久島から	武田 剛 // 著	1993年、日本で初めて世界遺産に登録された屋久島。その11年前まで、島のいたる所で広大な原生林が伐採されていた事実があった。屋久島の過去・現在・未来にせまる、渾身のドキュメンタリー。
中学校	星の旅人	小前 亮 // 著	行方知れずの父を探すため、少年は伊能隊と共に旅をする…。伊能忠敬の足跡を、少年の視点で描く歴史読み物。伊能忠敬の生い立ちや、時代背景、当時の風俗、測量技術の進化など、解説ページも充実。
	ある晴れた夏の朝	小手鞠 るい // 著	アメリカの8人の高校生が、日本に対するアメリカの原子力爆弾投下の是非について、原爆肯定派と否定派に分かれて討論する。日系アメリカ人のメイは、否定派の1人として演壇に立つことになり…。
	サイド・トラック	ダイアナ・ハーモン・アシャー // 作	ADD(注意欠陥障害)があり、授業を聞いていられなかったり、同級生にからかわれたり、日々心配事が絶えない中学生のジョセフ。運動が嫌いなのに、陸上競技をするハメになり…。あきらめない心の大切さをユーモラスに描く。
高等学校	この川のむこうに君がいる	濱野 京子 // 作	3.11の被災者であることを隠し、高校生活をまっさらな状態で始めたいと思った梨乃は、同じ中学出身者のいない都内の高校を選んだ。そして、福島から来た遼と出会う…。震災から3年後、16歳の心の軌跡。
	ザ・ヘイト・ユー・ギヴ	アンジー・トーマス // 作	ギャングがはびこる町に暮らす女子高生スター。ある晩、幼なじみカシルが白人警官により射殺される。目の前で起こった事件は、事実と異なって報道されていく。悩み、怯えながらも、スターはカシルの声となるため立ち上がり…。
	ヒマラヤに学校をつくる	吉岡 大祐 // 著	組織に属さず、社会的な信頼も実績もないまま22歳でネパールに渡り、思いつきで始めた貧しい人々への教育支援活動…。ゼロから学校づくりに挑んだ著者の涙と感動の20年の軌跡。